

磐城中正新報

發行日 毎月二日十五日
 定額 郵税共一部金 錢
 廣告料 普通欄五字一
 一回八十錢 場所指定廿錢
 印刷人 安澤榮作
 發行所 磐城縣平町舊成協會
 磐城中正新報社

和銅、鐵、金物問屋
 釜屋商店
 平町五丁目
 電話(九番)九九番

福島號の命名式は 原ノ町雲雀原で

式後縣内各都市訪問

九月十八日命名式舉行の事縣選出の各代議士縣會議員に決定した愛國機福島號は縣下市長村長其他で本縣空目下群馬縣太田町中島飛行前の快擧たる盛大なる命名機製作所に於て製作中八式を舉行後同日午後及翌日月下旬に完成の筈であるが二回に亘り縣下主要都市之が命名式場については福の上空に感謝訪問飛行を行島、失吹、原ノ町の三ヶ所ひ十九日午後所澤に歸還すを候補地に擧げ調査中の處る尙同日は前記參列諸員福島、矢吹は到底輕爆機の外縣下各地より吾れ等が離着陸に不適當で修理擴張福島號の命名式と其雄に多大の費用と日數を要す姿を見んと雲集するもの數るので僅少の修理で済む原萬人に達すべく原ノ町は野ノ町雲雀原で舉行する事馬追祭以上の入出を見るべに内定したのであるが命名式今よりその雜踏と賑ひを式の日には赤木知事を始め豫想されてゐる縣廳各部長並に關係各係及

四倉漁港修築費の

補助廿二萬圓

町民の宿望空しからず

三今月末に起工式舉行

四倉町民多年の宿望であつた二十二萬圓を左の年度割をた漁港修築問題は歴代の町長より現新町長に至る迄官報號外を以て發表さ

昭和七年度	二〇、〇〇〇
八年度	三〇、〇〇〇
九年度	三〇、〇〇〇
十年度	三〇、〇〇〇

平町上水道

竣工式

平町の上水道擴張工事は一日より新應舎に移轉し從今局に間借住んであつたが今回愈々落成したので去る十日より簡易保險並に郵便年金加

不良清涼飲料狩り

不良品二千餘本發見

平町各商店販賣品の内より先に三百餘本の不良清涼飲料水を發見した平署では目前の炎暑を控へ他にも不良品の懸念から管内全部に亘り嚴重に検査を執行せしに二千餘本の不良品を發見し何れも廢棄せしめたが各飲用者も時節柄相當注意を拂ふ必要がある

平簡保健康

相談所の移轉

平簡易保險健康相談所は田町の新應舎建築中は平郵便局に間借住んであつたが今回愈々落成したので去る十日より新應舎に移轉し從

株主總會

植田水力電機株式會社の第二十五回定期株主總會は來社内に開會左の諸件を附議する

暑中御伺

比佐昌平
 鈴木辰三郎
 安島重三郎
 金成通
 鷺清昇
 古川傳一
 山崎登
 小田吉治
 關内正一
 江口忠一
 渡邊德之助
 萩原申八
 四家又一
 小林清吉

小名濱町
 磐城水産工業株式會社
 社長 小野晋平
 支配人 福尾伊太郎
 電話(六番)一六〇番

坂田順治
 山崎吉平
 加藤丈夫
 鈴木榮
 川瀬幸治
 石川德壽
 多田井笑次郎
 佐藤三平
 赤塚勇吉
 直井藤太郎
 宮本鐵太郎
 酒井榮吉
 佐々木善作

暑中御伺

片倉製糸株式會社

平營業所

磐城建物株式會社

山崎佐市郎

山崎合名會社

平庶民金庫

磐城無盡商會

湯本信用無盡株式會社

只野忠康

植田水力電氣株式會社

豐間漁業組合長
馬目常吉

石城郡町村長會

平町公私立學校長懇話會
入山採炭株式會社湯本坑務所
古河鑛業株式會社好間鑛業所
五十嵐炭礦不動澤鑛業所
杉山炭礦鑛業所
平藝妓屋組合
湯本藝妓屋組合
平三業保健組合

平町三丁目
まかや洋服店
電話二〇三番

一般科
波醫院
平町電話五〇二番

礦山用諸機械、電氣器具商
田邊機械店
平驛前電話二九四番

內外科一般
平川醫院
江名町電話二六番

內外科、產婦人科
木村病院
平町新川町電話一六四番

前田醫院
植田町

吉田恭平商店
湯本町

木田熊太郎
小名濱町

萬屋商店
平町四丁目電話二七二番

平町城山
藥湯聚樂園
園主飯田近治
電話一〇九番

平町二丁目
西村藥舖
電話三三番

平町四丁目
關內藥局
電話四〇番

平驛前
平運輸株式會社
電話二二番

平町四丁目
柴田書店
電話二三四番

痔、神經痛、胃腸病
其他諸病に卓効あり。
旅籠及自炊自由

石城郡箕輪村高野
入の湯
神泉亭 高萩 コウ
◆常磐線緩驛より自動車の便あり◆

郡山無盡會社平出張所

平町三丁目
大黒屋勝次商店
電話一一六番

各國漆器
家具類各種
丸ほん
平町三丁目電話三五九番

平町新川町
佐藤材木店
電話三三五番

丸八鐵工所
小名濱町

御料理
勉強
平町二丁目裏通り
岡山寫眞館隣り

常磐亭